



7月から、一部の学校で夏休み期間が始まりました。今年には各学校、学年で夏休みの期間が異なるため、ご利用者全員にご来所頂けるよう、変則的な開所時間となりました。

また、7月に入ってから、吹田市でも感染が拡大しており、せっかくの夏休みに外出や帰省を控えたり、楽しみにしていたイベントが中止になるなど、子どもたちもふさぎがちですが、デイでも、またご家庭でも、日々のできごとを一緒に味わい、会話を重ねて絆を深めることで、この時期を少しでも安心して過ごしていただければと思います。

今号では7月の活動を振り返ります。どうぞお楽しみください。

7月のお誕生日会



7月27日(月)に、7月のお誕生日会を開催しました。7月生まれのお友達2名のうち、1名がお休みとなり、ゆったりとしたお祝いになりました。紹介曲の、アニメ「キャプテン翼」のテーマソングは、ご本人がCDを持参してくれました。ケーキのあとの「お友達クイズ」では、ご本人も忘れてしまったできごとを振り返りながら、初めてお誕生日会に参加する子ども、れいんぼーでどんな活動をしているかを知る機会になりました。



続いての「爆弾はこび」ゲームでは、ふたりで新聞紙の両端を持って、その上のボールを爆弾に見立て、ボールを落としたり、



時間が来たら爆発音が鳴る、というゲームでした。上手にできたら、穴をあけた新聞紙で、難易度を上げて挑戦しました。

7月の活動プログラムより



工作プログラムでは、ペットボトル風鈴を作りました。ペットボトルの上部をカットしたものに絵や模様を描いたり、シールを貼って飾り、縁の部分にマスキングテープを貼りつけ、画用紙にも文字や絵を描いて鈴と一緒に紐を通し、ストッパーとビーズで仕上げました。小さな穴に紐を通すのが難しいのですが、指先で糸の端をしごいて尖らせるなど、工夫して頑張りました。お店に売っていきそうなものから、個性的なデザインや



家族へのメッセージを書いたものなど、みんな熱心に取り組みました。料理プログ



ラムは、チーズせんべいに挑戦しました。プロセスチーズをカットして電子レンジで熱を加え、好みにシロップをかけたり、クッキーに載せたりして頂きました。柔らかいチーズがカリカリになる面白さを楽しみました。ご自宅ではおつまみにもなるメニューですので、ぜひ一緒に作ってみてください。



英語プログラムは、CH で始まる3つの単語と発音を学び、その言葉を使って、フルーツバスケットならぬ英語バスケットを楽しみました。英語の発音がきれいな上級生の見本で、一生懸命発音の練習をしたあとは、身体を動かして楽しみました。



運動プログラム・ゲーム大会は、6月のボール落としゲームで作った穴のあいた仕掛けをリメイクして新しいゲームを楽しみました。穴にカラーセロファンを貼ってライトを当てたところをタッチする光ってタッチや職員が下からフィギュアを差し込み、出たところを叩く、もぐらたたきが盛り上がりました。他にも、みんなが好きなぴよんぴよんジャンケンなど、楽しくからだを動かす遊びがたくさんできました。



音楽プログラムは、久しぶりにリトミックをしました。音に合わせて歩く、止まる、ジャンプ、の後は、海に出かけて色々な生き物に出会い、動きを表現しました。



れいんぼー卒業

3年半れいんぼーに通われた高校2年生の子が、将来に向けて、今できることを考え、高校3年生を待たずにれいんぼーを卒業することを決意され、みんなの前でお別れのあいさつをしてくださいました。ご本人も、職員も、聞いている子も涙あふれる、素晴らしいごあいさつでした。寂しくなりますが、素晴らしい成長ぶりに胸が熱くなりました。前向きな旅立ちを応援したいと思います。みんなで書いたメッセージと一緒に作ったキーホルダーをお渡しして、みんなでお見送りしました。これからもたくさんのお子さまの成長を見守り、旅立ちを応援できる幸せを実感した時間でした。

